

子宮細胞診と合わせて、将来、子宮頸がんになる危険度をチェックします。

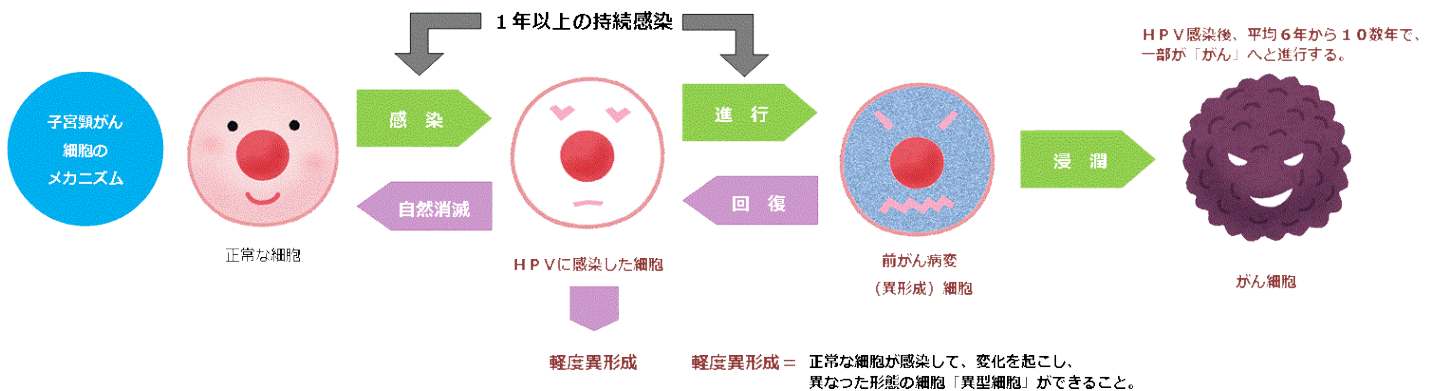
# HPV検査(ヒト・パピローマウイルス検査)



## どんな検査？

一般的にいう子宮がん検診は「子宮頸がん検査」を指しますが、これまでは子宮頸部の細胞を採取して顕微鏡で観察する「細胞診」が主流でした。「細胞診」では、がんの細胞だけでなくがんの前段階である「異形成」の細胞を発見し早期治療につなげていました。

近年、子宮頸がんは性交渉などからHPV（ヒト・パピローマウイルス）に持続感染することで引き起こされることが分かってきました。



集団を対象とした自治体検診では、

- 1 子宮頸がん死亡率の減少効果が不明であること
- 2 感染しても自然治癒することがあること
- 3 HPV感染者が全員発がんするわけではないこと

などから実施していませんが、子宮細胞診と併用することによって、将来、子宮頸がんになる危険度をチェックすることができます。

検査を希望される場合は、婦人科細胞診時に採取した細胞でできますので、追加の検査は必要ありません。

### 1 料金

HPV（ハイリスク） ￥5,500円（消費税込）

（16, 18型, その他のハイリスクグループが判ります。）

### 2 申込方法

人間ドック当日までにお電話等でお申込ください。

### 3 検査について

外部検査機関での検査となりますので、当日は結果は判りません。後日のお知らせとなります。

ご不明な点は右記へお問い合わせください。

東京通信病院 人間ドックセンター

〒102-8798 千代田区富士見2-14-23

電話 03 (5214) 7167, 7055